

## 突然の痒い発疹

川口市立医療センター

皮膚科 たか はし 高橋 しょうご 昌五



ある日突然、痒みとともに体のあちこちに皮疹(膨疹)<sup>ひしん ぼうしん</sup>が出てきたら、それは蕁麻疹<sup>じんましん</sup>かもしれません。蕁麻疹は日常的な皮膚病で、例外はありますが非常にわかりやすい特徴を持っています。その特徴は、突然出現すること、蚊に刺されたようなむくみを伴う皮疹が生じること、引っかくと引っかいたとおりに線状に赤くなること、数時間から一日程度で自然に皮疹が消えて茶色い跡を残さないことです。これらの特徴を備えた皮膚病が蕁麻疹です。蕁麻疹は即時型アレルギーといって、原因に接触してからだいたい1時間以内に皮疹が出現します。原因となるものは食べ物や薬といった直接口にするもののほか、ウイルスや細菌などの感染症、さらには日光、熱い冷たいといった温度・水など多岐にわたります。しかし、そのうち原因が特定できる蕁麻疹は3割ほどと言われています。蕁麻疹の原因を特定することは難しくても、蕁麻疹患者の体内ではマスト細胞という血液細胞からヒスタミンという化学物質が大量に放出されており、それが血管に作用して症状を起こしているということはわかっています。従って、ヒスタミンが血管と神経に作用することを防ぐ抗ヒスタミン薬が非常に有効です。蕁麻疹は自然に消えてしまう場合もありますが、症状を繰り返すことで長引くこともあります。また、中にはアナフィラキシーという状態になり、命に関わるタイプもあります。特徴的な症状が出たらすぐに皮膚科に受診して治療を受けましょう。